

相澤病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名 (研究番号)	大腿骨近位部骨折患者における術後早期の位相角と歩行能力の関連 (承認 No. 2025-020)
当院の研究責任者 (所属・職名・氏名)	整形外科リハ科 理学療法士 鳥山貴大
他の研究機関および各施設の研究責任者	国際医療福祉大学大学院 保健医療学専攻 理学療法学分野 教授 久保晃
本研究の目的	生体電気インピーダンス分析（以下、BIA）は安全かつ簡易に体組成を分析できます。BIAで測定される位相角は、様々な疾患の臨床転帰の予測に用いられています。大腿骨近位部骨折患者さんの位相角も歩行能力に影響することが示されていますが、術後早期に測定された位相角と短期的な歩行能力の関連は明らかにされていません。術後早期に測定した位相角を用いて大腿骨近位部骨折患者の短期的な歩行能力を予測できることは急性期のリハビリテーションを進める上で有益な情報になる可能性があります。 本研究では大腿骨近位部骨折患者さんの位相角と術後短期的な歩行能力の関連について調査します。
調査データ 該当期間	2023年3月から2027年3月までに当院で加療された大腿骨近位部骨折患者さんの情報を調査対象とします
研究の方法 (使用する試料等)	<ul style="list-style-type: none"> ● 対象となる患者さん 上記期間内に大腿骨近位部骨折と診断され、当院で加療された方 ● 利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録、検査項目（血液検査、レントゲン画像など）、生体電気インピーダンス分析の測定値、身体活動量、日常診療で評価された身体機能、日常生活動作能力を調査する ● 研究期間：2025年5月16日～2028年3月31日
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません
個人情報の取り扱い	利用する情報から個人の氏名、生年月日、診療情報等、個人を識別できる情報などの個人情報を削除して患者さんを直接特定できる情報は削除致します。また、研究成果は学会・論文等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません
お問い合わせ先	相澤病院 整形外科リハ科 理学療法士 研究責任者 鳥山貴大 Tel : 0263-33-8600(代表)
備考	